

授業科目	英語通訳演習 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN31324J		
開講年次	3・4 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-3 DP5-1			
担当教員	ノリス 志津代							
授業概要	<p>●英語逐次通訳に必要な基礎力強化： 英語の音声的特徴と構文上の特徴を学び、口頭練習を徹底します。聴解力基礎訓練としてシャドーイングとディクテーションは毎週の課題として継続的に行います。</p> <p>●情報処理力・理解力強化： 話のロジックの流れを押さえるために、情報を映像化し、次の展開を予測し、内容を自分の言葉で要約する練習を徹底し、理解力を強化します。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>●英日訳出練習： (1) 前出し速訳：英文を前から順次「エーウー」など不要語を言わずにテンポよく訳し、練習後の完成段階では毎分 70～80 語台(学期初)、80～110 語台(学期末)の訳出ができる。</p> <p>●「実践で使える英語」のための基礎練習： (1) リズム：「かたまりで聞こえない部分」＝「リエゾン部分」＝「機能語部分」をシャドーイング練習し、英語の「音の崩れ」に慣れる。シャドーイングのミスはゼロを目指し、教材を暗唱する。 (2) ディクテーション力：聴き取れない箇所(＝機能語)を構文力(＝品詞力)で書き取れることを目指し、主語・動詞・目的語等の「語順を正しく書き取ること」に意識が向くようになる。 ☆課題の多いクラスです。授業内容は以下のように計画していますが、授業の進捗状況により適宜調整します。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	0	10	10	10	0	100	試験は主に口頭発表
知識・理解 (DP1-1)	10						10	
知識・理解 (DP1-2)	20						20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10			10			20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	10						10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)			10		10		20	データ資料提出必須
技能・表現 (DP5-1)	20						20	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

(1)前出し訳速度:110語以上(不要語なし) (2)英文暗唱速度:190語以上(機能語のリエゾン習得) (3)シャドーイング:ミスゼロ		(1)前出し訳速度:80語以上(不要語なし) (2)英文暗唱速度:170語以上(機能語のリエゾン習得) (3)シャドーイング:ミス2~3カ所		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	コース説明。ペア逐次通訳体験。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
2	機能語(リエゾン)の書取。シャドーイング、リズム練習。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
3	情報の映像処理方法紹介。書取:英文を自動詞・他動詞及びシンタクスの観点から点検。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
4	映像処理。英語戻し。英語のリズム・ビート練習。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
5	映像処理。題から内容を予測、要約。リズム・ビートでシャドー練習。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
6	書取(機能語)修正練習。題から内容を予測し、自分の言葉で要約。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
7	リズム・ビート→暗唱練習。内容の要約。書取の間違いを自己修正。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
8	映像処理、予測、自分の言葉化練習。ペア通訳。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
9	リズム・ビート録音提出。英語戻し。書取(シンタクス・機能語)修正練習。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
10	書取自己修正版提出。暗唱速度点検。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
11	逐次訳出:1)要点抽出、2)和訳、3)パラフレーズ。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
12	ディクテーション:実力試し。逐次訳出:1)要点抽出、2)和訳、3)スピーチペア通訳。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
13	「データ表」提出(必須)。シャドーイング、暗唱完成品。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
14	逐次通訳実力試し:1)要点抽出、2)和訳、3)パラフレーズ、4)スピーチペア通訳。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
15	総復習。	演習	総復習	60-120
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	英検2級以上、TOEIC550点以上。			
テキスト	なし。必要に応じて資料を配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	英和辞書は[SVO]等の文型が明示されているものを一つ用意して下さい。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	定員は20名です。 「話せる英語」の量を積極的に増やしましょう。まずは、シャドーイングや暗唱練習を習慣づけ、毎日のように英語を口に出す。それを土台に今度は自分の言葉で言い換えてみる。最初はうまくいきませんが、練習を繰り返すごとに楽になります。しっかり口頭練習を行いましょう。			
達成度評価に関するコメント	学期を通し、シャドーイングや英語戻し、暗唱等の口頭練習を繰り返し行います。その積み重ねが期末試験に直結します。教材毎の具体的な達成語数や訳出精度、速度は授業中に伝えます。			